

お客様へ

ご使用前に、この取扱説明書を必ずお読みください。お読みになった後、大切に保存し、必要なときにお役立てください。

安全のために必ずお守りください

■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、
△警告、△注意の表示で区分して説明しています。
表示の意味は表中で説明しています。

図記号の意味は次のとおりです。

⊘ 絶対に行わない
ください。

❗ 必ず指示に従い
行ってください。

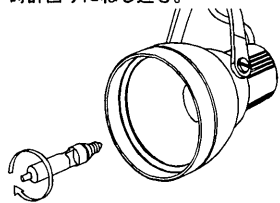
⚠ 警告		誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに 結びつく可能性があるもの
⊘ 禁止	器具の改造や指定部品以外の交換はしない。 (火災・感電・落下の原因)	⊘ 禁止
	器具やランプを布や紙などで覆わない。 (可燃物をかぶせて使うと火災の原因)	
		器具のすき間や放熱穴に金属類を差し込まない。 (火災・感電の原因)

⚠ 注意		誤った取扱いをしたときに、傷害または 家屋・家財などの損害に結びつくもの
⊘ 禁止	お客さま自身で電気工事はしない。電気工事士などの 資格が必要です。(火災・感電の原因)	⊘ 禁止
	ランプに塗料などを塗らない。 (ランプが過熱・破損してけがの原因)	
	器具の直下や近くにストーブなどの熱器具を置か ない。(過熱して火災の原因)	❗ 厳守
	点灯中のランプから近距離の所で長時間の作業を したり、ランプを直視しない。	
		明るく安全にご使用いただくために半年に1回の保 守・点検を行う。

ランプ交換・器具の清掃 — △警告 電源スイッチを切ってから行う (感電の原因) —

ランプ交換

- ランプの取りはずしはランプを
反時計回りにまわす。
- ランプの取付けはランプを
ソケットに押し込みながら、
時計回りにねじ込む。



清掃

○ランプ・プラスチックや金属部分の汚れは
やわらかい布にぬるま湯または水をつけてよく
絞ってふきとってください。

適合ランプ	JD110V65WN/P/E	口金: E11
(別売)	JD110V85WN/P/E	口金: E11

△注意

- 点灯中及び消灯直後のランプや器具には触ら
ない(高温のためやけどの原因)
- ランプはソケットに確実に取付ける
(取付けが不完全な場合落下の原因)
- 使用済みのランプは不用意に割らない
(ガラスが飛散してけがの原因)
- ソケットの清掃に洗剤を使用しない
(洗剤でソケットが破損しランプ落下の原因)

△警告

- 器具・ランプを水洗いしない(火災・感電の原因)
- 適合ランプ以外のランプは絶対に使用しない
(火災・破損・怪我の原因)

△注意

定期的に清掃を行う(湿度が高くランプが汚れて
いると絶縁抵抗が低下することがあります)

照明器具の寿命について

- 照明器具には寿命があります。設置して8～10年経つと、
外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。
点検・交換をおすすめします。

※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯です。

- 周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合は寿命が
短くなります。
- 3年に1回は工事店等の専門家による点検をお受けください。
- 点検せずに長時間使用し続けると、まれに、発煙・発火・感電
などに至る恐れがあります。

保証について

- 保証期間は商品お買上げ日より1年間です。
ただし、ランプなどの消耗品は対象外です。詳細は弊社カタログをご参照下さい。

異常時の処置

△警告

煙が出たり、変な臭いがしたり、破損したなど異常を感じた場合はすぐに電源スイッチを切る。
(火災・感電の原因)

煙が出なくなるのを確認して、工事店または下記連絡先にご相談ください。

三菱電機株式会社
三菱電機照明株式会社

〒247-0056 神奈川県鎌倉市大船2-14-40
☎(0467) 41-2729 (営業統括部)
☎(0467) 41-2773 (品質保証部サービス課)

AKARI
KOBO

ダウンスポット

形名 **AKD0074W AKD0074K (広角配光)**

- この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できません。またアフター
サービスもできません。
- 電源周波数50Hz・60Hz 共用形ですから、日本全国どこでも使用できます。

取扱説明書

施工者さまへ

- 施工の前に、この取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。
- 取付工事の後、必ずお客さまにお渡しください。

安全のために必ず守ること

■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、
△警告、△注意の表示で区分して説明しています。
表示の意味は表中で説明しています。

図記号の意味は次のとおりです。

⊘ 絶対に行わない
ください。

❗ 必ず指示に従い
行ってください。

⚠ 警告		誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに 結びつく可能性があるもの
⊘ 禁止	引火する危険のある雰囲気では使わない。(ガソリン・ 可燃性スプレー・シンナー・ラッカー・可燃性粉じんのある 所で使わない)(火災の原因)	⊘ 禁止
	器具取付けの際は電線を挟まない。 (絶縁不良により感電・火災の原因)	❗ 厳守
		配線工事の際、電線の絶縁体にキズをつけない。 (絶縁破壊により感電・火災の原因)
		施工は電気設備の技術基準・内線規程に従い行う。

⚠ 注意		誤った取扱いをしたときに、傷害または 家屋・家財などの損害に結びつくもの
⊘ 禁止	高温(35℃以上)、粉じん、油煙の多い場所、強い 振動・衝撃のある場所では使わない。(落下・感電・ 火災の原因)	⊘ 禁止
	さびの出やすい場所、腐食性ガスが出る場所で使わ ない。(劣化による落下の原因)	
	器具は乾燥不十分なクロス貼り・コンクリート面に は取付けない。 (絶縁不良やさびにより感電・落下の原因)	⊘ 禁止
	風呂場など水や湿気の多い場所では使わない。 (火災・感電の原因)	
		雨水のかかる場所で使わない。 (水気・湿気が入り感電の原因)
		器具を密集して取付けない。(10 cm以上離す) (器具の温度が高くなり火災の原因)
		狭い箱のような中で使わない。また、器具を隠して 使う場合は、放熱を妨げない。 (器具が過熱して火災の原因)
		トランス内蔵器具は、調光器との併用をしないで ください。 (器具が過熱して火災の原因)

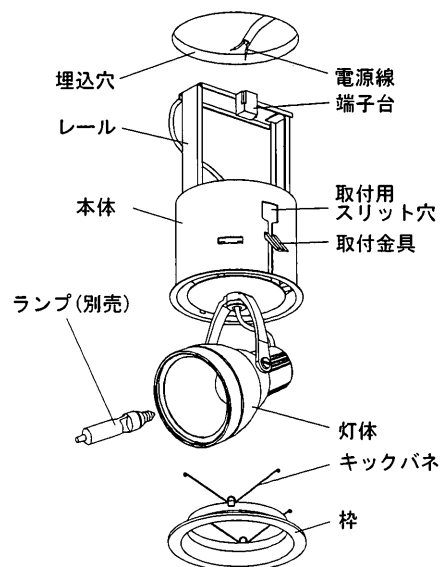
使用上の注意

- 周囲温度は5～35℃の範囲でご使用ください。
- 電源電圧は定格±5%に範囲で使用してください。又、急激な電圧降下(5%以上)がある場合、ランプが消灯するこ
とがあります。
- インバータ器具の場合は、電力線搬送を使用した機器と電源を共有すると、電力線搬送機器が正常に作動しない場合
があります。

各部のなまえと取付けかた

△警告

器具の取り付けは取扱説明書に従い行う（不確実な取り付けは、器具落下・感電・火災の原因）

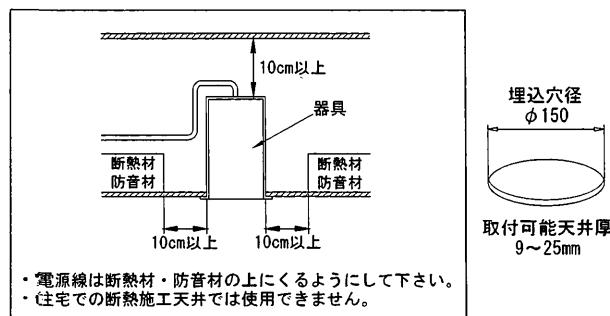


1 取り付け前の確認

- 器具質量に十分耐えうるよう取付部の補強をして下さい。
- 補強材を入れる場合、天井内で動かないよう固定して下さい。

2 天井に埋込穴をあける

- 指定埋込穴φ150に対して +3mm、-0mmであけて下さい。



- ・電源線は断熱材・防音材の上にくるようにして下さい。
- ・住宅での断熱施工天井では使用できません。

△警告

断熱材施工天井に取り付けない。
火災の原因となります

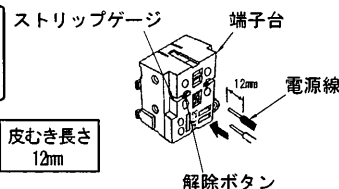
3 電源線を接続する

- 電源線の被覆を指定の寸法にむき、端子台にしっかりと差し込んで下さい。
- 電源線とアース線は、接続機器から離れて施工して下さい。

△警告

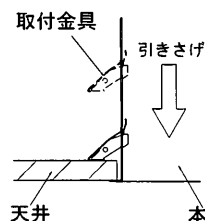
接続が不完全な場合、容量オーバーした場合漏電・火災の原因となります。

- 端子台の送り容量は、15Aです。
- 適合電線：φ1.6mm単線
：φ2.0mm単線



4 器具を埋込穴に入れる

- 枠を引き上げ、キックパネを縮めて 枠を外してください。
- 灯体を引き上げ、本体内部から 付属の取付金具を使って 本体を天井に固定して下さい。

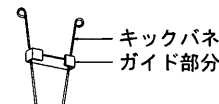


取付金具を 本体と天井が密着するまで引き上げます。

△警告

取り付けが不完全な場合、落下の原因となります。

- 枠のキックパネを右図のようにガイド部分にしっかり入っている事を確認して、枠を押し上げて下さい。



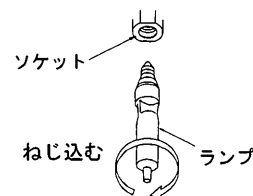
△警告

- ・器具の外郭が天井内の造営物・ダクトに触れない。

火災・感電の原因となります。

5 ランプの取り付け

- ランプ(別売)をソケットに合せて確実にねじ込んで下さい。



△警告

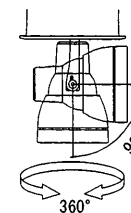
取り付けが不完全な場合、落下の原因となります。

△注意

ランプは、直接素手で触らない。
短寿命、破損の原因となります。

6 照射方向の調整

○回転は図の様にすることができます。



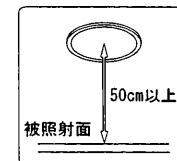
△注意

可動範囲以外に無理に動かさない。
器具破損の原因となります。

△警告

点灯中及び消灯直後のランプや器具には触らない。
高温の為 やけどの原因となります。

7 照射面との距離

この器具は50cmで被照射面の温度が60℃になります。
被照射物の火災・変形・変色の原因となりますので、照射面との距離は50cm以上離してご使用下さい。

△警告

照射面近接限度50cm以内に繊維など可燃物を近づけない。
器具照射面は高温になり火災の原因となります。

△注意

照射面近接限度50cm以内にドアや家具などの可燃物を近づけない。
器具の照射面は高温になり変色・変形の原因となります。